

なかやま 中山グループは せきねん だんニウ 団交 つぶしを しや ざい 謝罪 たんか 単価を あ 上げろ
 全ての「業者」は 単価を あ 上げろ

仲直りひなやさん△△
 大正の「タタオ千人天出し」中山工務店は、
 昨年、オ一回団交で、可成回は最低な七千
 八百円になるよう努力しますと約束して
 あきながら、オ二回目の団交では、ポリニタ
 レこみ、団交つぶしを行ない、オ一回交渉
 での約束を破ったまま開き直っている。
 現在、中山はセンター開工の
 コソコソと手配をしたり、電車
 でこましたり、ヤジには、中山
 建設など他の大正の人天出しな
 らん半をまわしてまわっている。
 仲間たち、
 労作者の正当な要求を、ポリム
 をニコにふみにじり、低賃金で
 酷使し、ボロもつけをしている
 中山を断固許すな！
 中山はポリコトとしておめう、
 団交つぶしを謝罪し、
 賃金を八千円以上にしろ

釜崎解力	1981	釜井 争議団
	4.1	ごんゆ 632-4273

全^{すべ}ての「業者^{しや}」は単価^{たん}を上げろ。
「タタオ千人^{せん}人^{にん}天出し^{てん}のボツタタ
リを許^やすな。▽」

仲間^なたち

この前、タタオ千人^{せん}人^{にん}天出し^{てん}なら、可土工^し一六五〇〇^びで仕事^{しごと}に
いったところ、現場^{げんば}でカントク^{かん}なら、可^ああまたち^ちは九千
五百円^{せん}を出^だしているのだ、それなりに竹^{たけ}なんない^いといわれ
た。そして、この^{この}オヤジ^{おや}は千人^{せん}人^{にん}天出し^{てん}に、可土工^しで九千五百円^{せん}
出^だしている。大阪^おや女^め陣^{じん}の千人^{せん}人^{にん}天出し^{てん}の取^とり下^げ単価^{たん}は昨年^{さくねん}より
千^{せん}四百^{ひゃく}五十^ご円^{げん}上^あっており、ど^いたい九千五百円^{せん}前後^{ぜんご}だ。
堀^ほり方^{かた}等^ら、千^{せん}ついに仕事^{しごと}には一^{いっ}万^{まん}円^{げん}以上^{いじょう}出^だしている^らとい^いつて
いた。』との仲間^なたちの話^{はなし}もたらされた。

仲間^なたち

千人^{せん}人^{にん}天出し^{てん}の取^とり下^げ単価^{たん}は昨年^{さくねん}なら大幅^{たいはく}に上^あっており、我々^{われら}
のデズラを上^あげられない^ら根拠^{こんきょ}は全^{ぜん}くない。ところが我々^{われら}のデズ
ラはいつ^{いつ}に上^あってはあらず、あ^あい変^からざる^ら六千五百円^{せん}だ。
それ^{それ}どころな、X^エ代^{だい}と女^めやれ^れX^エとか^{とか}でボツタタ^つクリを強^{つよ}め
奥^{おく}會^{かい}會^{かい}金^{きん}は低^{てい}下^かしている。仲間^なたち、タタオ千人^{せん}人^{にん}天出し^{てん}の
六五^{ろくご}を八^{はち}千^{せん}の^のけ^け八^{はち}千^{せん}以上^{いじょう}の要^{よう}求^{きゅう}を千^{せん}つ^つけ債^ち上^{じやう}げに勝^{しょう}利^りしよう。